

徳島県感染症発生動向調査事業年報

Annual Report of The Tokushima Infectious Diseases Surveillance

【2024（令和 6）年版】

徳島県立保健製薬環境センター
（徳島県感染症情報センター）

はじめに

感染症発生動向調査事業は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症法」）」に基づき、感染症発生状況を把握・分析し、情報提供することにより、感染症の発生及びまん延防止を図ることを目的に実施しています。

新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月に定点把握の5類感染症に位置づけられました。夏と冬に流行が見られており、当センターでは、次世代シーケンサーによるゲノム解析を実施し、県内での変異株の発生状況を継続的に監視しています。

また、本年4月7日より、急性呼吸器感染症（ARI）が新たに定点把握の5類感染症へと位置づけられ、定点サーベイランスが開始されました。このサーベイランスは、流行しやすい呼吸器感染症の流行を把握するとともに、未知の呼吸器感染症が発生、増加し始めた場合に迅速に探知できるよう開始されました。新型コロナウイルス感染症での経験をもとに、次なるパンデミックへの対策が進められています。

感染症発生動向調査事業は、有効な感染症対策を的確に講じるための重要なエビデンスとなります。そのため、事業の実施主体である保健製薬環境センターの役割と責任は、ますます重要になると考えております。

今後も、感染症対策の一層の強化と充実を図るため、国内外からの様々な情報の収集に取り組んでまいります。また、疫学情報部門と検査部門が連携し、状況の変化に応じて迅速かつ的確な調査と情報提供を行うことで、効果的な感染症対策に寄与できるよう努めてまいります。

このたび、2024（令和6）年における徳島県の感染症情報を整理し、年報を作成しましたので、感染症対策の資料として御活用いただければ幸いです。

なお、この事業の実施にあたり、御尽力をいただきました県内各医師会、定点医療機関、保健所等の関係者の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、今後も本事業の推進になお一層の御支援と御協力をよろしくお願いいたします。

令和7年11月
徳島県立保健製薬環境センター
（徳島県感染症情報センター）
所長 相原 文枝

目 次

1. 感染症発生動向調査について	1
2. 全数把握対象感染症患者届出状況	
(1) 全数把握対象感染症の過去5年間の届出状況	5
(2) 各疾病の届出状況	
① 結核	6
② 腸管出血性大腸菌感染症	7
③ A型肝炎	8
④ 日本紅斑熱	9
⑤ レジオネラ症	9
⑥ アメーバ赤痢	10
⑦ ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）	10
⑧ カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	11
⑨ 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、 日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	11
⑩ クロイツフェルト・ヤコブ病	12
⑪ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	12
⑫ 後天性免疫不全症候群	12
⑬ 侵襲性インフルエンザ菌感染症	13
⑭ 侵襲性肺炎球菌感染症	13
⑮ 梅毒	14
⑯ 播種性クリプトコックス症	15
⑰ 百日咳	16
3. 定点把握対象感染症患者報告状況（週報）	
(1) 過去5年間の報告状況	17
(2) 各疾病の報告状況	
① インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）	18
② 新型コロナウイルス感染症	19
③ RSウイルス感染症	20
④ 咽頭結膜熱	21

⑤ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	22
⑥ 感染性胃腸炎	23
⑦ 水痘	24
⑧ 手足口病	25
⑨ 伝染性紅斑	26
⑩ 突発性発しん	27
⑪ ヘルパンギーナ	28
⑫ 流行性耳下腺炎	29
⑬ 急性出血性結膜炎	30
⑭ 流行性角結膜炎	30
⑮ 細菌性髄膜炎（髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く）	31
⑯ 無菌性髄膜炎	31
⑰ マイコプラズマ肺炎	32
⑱ クラミジア肺炎（オウム病を除く）	32
⑲ 感染性胃腸炎（ロタウイルス）	33

4. 定点把握対象感染症患者報告状況（月報）

（1）過去5年間の報告状況	34
（2）性感染症患者報告状況	
① 性器クラミジア感染症	34
② 性器ヘルペスウイルス感染症	35
③ 尖圭コンジローマ	35
④ 淋菌感染症	36
（3）薬剤耐性菌感染症患者報告状況	
① メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	36
② ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	37
③ 薬剤耐性緑膿菌感染症	37

5. 病原体検査検出結果

（1）ウイルス検査結果	38
（2）細菌検査結果	42

6. 資料 45

(1) 全数把握対象疾患の患者数

付表1：令和6年 全数把握対象疾患の月別患者数

付表2：令和6年 全数把握対象疾患の保健所別患者数

(2) 定点把握対象疾患（週報）の患者数

付表3：令和6年 定点把握対象疾患（週）の週別患者報告数

付表4：令和6年 定点把握対象疾患（週）の週別定点あたり患者報告数

付表5：令和6年 定点把握対象疾患（週）の保健所別患者報告数

付表6：令和6年 定点把握対象疾患（週）の保健所別定点あたり患者報告数

付表7：令和6年 定点把握対象疾患（週）の年齢階級別報告数

(3) 定点把握対象疾患（月報）の患者数

付表8：令和6年 定点把握対象疾患（月）の月別患者報告数

付表9：令和6年 定点把握対象疾患（月）の年齢階級・性別報告数

(4) 警報・注意報発生システムについて

(参考資料) 徳島県感染症発生動向調査事業要綱